

薬理学 B (Pharmacology B)					担当教員
					教授 大矢 進
					准教授 藤井 正徳
					助教 鬼頭 宏彰
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
薬学専門教育（講義）	2年次 後期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

薬理学は、「生体内外の化学物質と生体の相互作用を、種々の研究方法により個体、臓器、組織、細胞、分子のレベルを貫いて総合的に研究し、さらに創薬・育薬などの薬物の疾病治療への応用を視野に入れ、薬物治療の基盤を確立する科学」である。本講義では、生理学、解剖学、生化学等の知識を基盤として各種薬物の薬理作用、作用機序、適応、主な副作用について学習する。

【授業の一般目標】

薬理学 B では、「循環器系」、「腎・泌尿器系」、「中枢神経系」に作用する薬物の作用機序、適応症および主な副作用についての詳細な知識を理解する。

【準備学習(予習・復習)】

学習内容が多いため、教科書や補助教材を予習することを推奨する。また、解剖学、生理学で学習した関連知識を復習すること。講義中に実施する演習問題等で学習内容の達成度を各自確認し、講義後に教科書・補助教材を復習すること。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	循環器系に作用する薬物 (1)	大矢	心臓・血管系の生理機能の概要について説明できる。 心臓・血管系に作用する主な生体内物質を列挙し、それらの病態生理学的役割について説明できる。	C13-(2)- -1,2,3,4
2	循環器系に作用する薬物 (2)	大矢	代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -2 C13-(2)- -1
3	循環器系に作用する薬物 (3)	大矢	代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -1 C13-(2)- -1
4	循環器系に作用する薬物 (4)	大矢	代表的な虚血心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -3 C13-(2)- -1
5	循環器系に作用する薬物 (5)	大矢	代表的な高血圧治療薬、脳循環改善薬、低血圧治療薬、末梢血管拡張薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -4 C13-(2)- -1
6	腎臓・泌尿器に作用する薬物 (1)	鬼頭	腎臓機能の概要を説明できる。 利尿薬を作用機序別に分類し、臨床応用および主な副作用について説明できる。	C13-(3)- -1 C13-(3)- -1
7	腎臓・泌尿器に作用する薬物 (2)	鬼頭	利尿薬を作用機序別に分類し、臨床応用および主な副作用について説明できる。また、尿崩症治療薬、排尿機能障害治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(3)- -1 C13-(3)- -1
8		藤井	代表的な催眠薬、全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -1, 2
9		藤井	代表的な抗てんかん薬、抗不安薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -4,5
10	中枢神経系に作用する薬物 (3)	藤井	代表的な麻薬性鎮痛薬、解熱鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -3
11	中枢神経系に作用する薬物 (4)	藤井	代表的なパーキンソン病治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -4
12	中枢神経系に作用する薬物 (5)	藤井	代表的な統合失調症治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -5
13	中枢神経系に作用する薬物 (6)	藤井	代表的な抗うつ薬・抗躁薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -5
14	中枢神経系に作用する薬物 (7)	藤井	代表的な中枢興奮薬、中枢性筋弛緩薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。	C13-(2)- -4,5
15	総括・まとめ			
16	中枢神経系に作用する薬物 (1)			

17	中枢神経系に作用する薬物 (2)			
----	-----------------------	--	--	--

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	最新基礎薬理学	竹内孝治、岡淳一郎	廣川出版
参考書	NEW薬理学	田中千賀子、加藤隆一	南江堂

【成績評価方法・基準】

定期試験の成績を主として評価する。(但し、講義の開始直後と終了直前に出欠を確認する。)

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワー：火・木曜日の17:00-18:00；授業内容に関する質問がある場合には躬行館5階・薬理学分野に直接来てください。他の曜日也可、在室を確認のこと(TEL 075-595-4667(大矢)、075-595-4668(藤井、鬼頭))。